



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月13日

上場会社名 太平洋興発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8835 URL http://www.taiheiyo.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 幹介
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上原 與章 TEL 03-5830-1602
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,250	3.8	88	43.0	105	42.9	36	6.3
25年3月期第1四半期	6,021	8.7	154	32.7	183	34.1	34	94.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 80百万円(-%) 25年3月期第1四半期 321百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.53	-
25年3月期第1四半期	0.50	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	35,583	13,044	35.6	186.78
25年3月期	35,007	13,263	36.8	190.09

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,664百万円 25年3月期 12,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	-	-	2.00	2.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	11.6	200	55.8	150	65.5	100	55.7	1.47
通期	31,000	10.9	800	10.9	700	23.1	400	4.4	5.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名） - 、除外 - 社（社名） -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は、添付資料2ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」を参照。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	67,834,489株	25年3月期	67,834,489株
期末自己株式数	26年3月期1Q	29,708株	25年3月期	29,708株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	67,804,781株	25年3月期1Q	67,806,983株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了している。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入力可能な情報に基づき作成したものであるが、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性がある。なお、上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付書類）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済・金融政策への期待感により円安が進み、輸出企業を中心に業績の回復が見られてきたものの、輸入原材料の価格が高騰するなど、全体の景気回復には先行き不透明な状況が続いている。

このような経済状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同期と比較し、前連結会計年度に竣工した北海道帯広市の分譲マンションを販売したことを主因に、売上高は62億50百万円（前年同期比3.8%増）となったが、シルバー事業の稼働率が落ち込んだこと及び電気設備工事の受注減等により、営業利益は88百万円（同43.0%減）、経常利益は1億5百万円（同42.9%減）となった。

また、前年同期と比較し特別損失の債務保証損失引当金繰入額が77百万円減少したことにより、四半期純利益は36百万円（同6.3%増）となった。

なお、セグメントの業績は次のとおりである。

不動産事業

当第1四半期連結累計期間は、北海道帯広市の分譲マンションを販売したことにより、売上高は8億40百万円（対前年同期比36.5%増）、営業利益は1億96百万円（同37.4%増）となった。

商事事業

主力事業である輸入炭の販売数量及び単価が、前年同期とほぼ同水準であったことにより、売上高は31億58百万円（同0.7%増）となり、営業利益は76百万円（同3.0%増）となった。

サービス事業

シルバー事業の稼働率が低下したこと等により、売上高は13億72百万円（同2.3%減）となり、各サービス事業の固定費負担もあり、営業利益は2百万円（同97.3%減）となった。

その他の事業

炭カル肥料等の販売が増加したことにより、売上高は8億78百万円（同1.7%増）となったが、電気設備工事の利益率が減少し、営業損失5百万円（前年同期は18百万円の営業利益）となった。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、355億83百万円となり、前連結会計年度末比5億76百万円増加となった。この主な要因は、石炭の棚卸資産が増加したことによるものである。

負債は、225億39百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億95百万円増加となった。この主な要因は、短期借入金の増加等によるものである。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少1億25百万円等により、130億44百万円と前連結会計年度末比2億18百万円減少し、自己資本比率は35.6%（前連結会計年度は36.8%）となった。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想については、現時点で平成25年5月14日に公表した計画から変更はない。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がある。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はない。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はない。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,065	5,472
受取手形及び売掛金	3,203	2,634
販売用不動産	531	340
未成工事支出金	142	372
商品及び製品	3,005	4,816
原材料及び貯蔵品	149	145
その他	1,638	1,695
貸倒引当金	22	19
流動資産合計	14,713	15,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,188	4,137
土地	10,220	10,291
その他（純額）	806	820
有形固定資産合計	15,216	15,249
無形固定資産		
その他	77	75
無形固定資産合計	77	75
投資その他の資産		
投資有価証券	2,219	2,029
長期貸付金	263	259
差入保証金	1,974	1,973
その他	551	545
貸倒引当金	8	8
投資その他の資産合計	5,000	4,800
固定資産合計	20,293	20,125
資産合計	35,007	35,583
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,721	3,091
短期借入金	3,175	4,095
賞与引当金	229	344
じん肺補償損失引当金	4	4
その他	2,571	2,471
流動負債合計	8,702	10,006
固定負債		
社債	1,140	1,090
長期借入金	1,998	2,087

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受入保証金	4,285	4,336
退職給付引当金	677	670
債務保証損失引当金	1,283	1,293
資産除去債務	180	180
その他	3,476	2,873
固定負債合計	13,041	12,532
負債合計	21,744	22,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,782	3,782
資本剰余金	2,890	2,890
利益剰余金	4,409	4,310
自己株式	3	3
株主資本合計	11,078	10,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,147	1,021
土地再評価差額金	663	663
その他の包括利益累計額合計	1,810	1,685
少数株主持分	374	379
純資産合計	13,263	13,044
負債純資産合計	35,007	35,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,021	6,250
売上原価	5,128	5,434
売上総利益	893	816
販売費及び一般管理費	738	728
営業利益	154	88
営業外収益		
受取配当金	25	28
貸倒引当金戻入額	20	4
その他	24	23
営業外収益合計	70	56
営業外費用		
支払利息	31	31
その他	10	8
営業外費用合計	41	40
経常利益	183	105
特別利益		
固定資産売却益	11	0
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産除却損	-	4
債務保証損失引当金繰入額	87	10
その他	1	-
特別損失合計	88	14
税金等調整前四半期純利益	106	90
法人税等	64	48
少数株主損益調整前四半期純利益	42	42
少数株主利益	8	6
四半期純利益	34	36

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42	42
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	363	123
その他の包括利益合計	363	123
四半期包括利益	321	80
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329	88
少数株主に係る四半期包括利益	7	7

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はない。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はない。

（セグメント情報等）

前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	616	3,136	1,405	5,158	863	6,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66	174	107	348	21	369
計	682	3,310	1,513	5,506	884	6,391
セグメント利益	143	74	90	308	18	327

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	308
「その他」の区分の利益	18
セグメント間取引消去	3
全社費用（注）	176
四半期連結損益計算書の営業利益	154

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	840	3,158	1,372	5,371	878	6,250
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66	197	122	386	28	414
計	907	3,355	1,495	5,758	906	6,665
セグメント利益又は 損失()	196	76	2	275	5	270

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	275
「その他」の区分の利益	5
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	186
四半期連結損益計算書の営業利益	88

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はない。

(重要な後発事象)
該当事項はない。